

## 平成31年度 第1回市長タウンミーティング概要

と き：平成31年4月13日（土）

午後2時～3時30分

ところ：西公民館

参加者：92人

### ○市長あいさつ

（市長より、平成31年度の施策・予算についての説明が行われました。）

### ○意見交換

#### 質問(女性)

コミュニティバスぷらっとわらびについて、西ルートの逆回りをぜひ実現してほしいと願っています。市議会で付帯決議があったと聞きましたが、見通しはどのようなのでしょうか。

#### 回答(市長)

ぷらっとわらびについては、私の3期目のマニフェストで4台運行や逆回りなどルート拡充を掲げ、取り組みを進めてきました。この間、ぷらっとわらびについての市民アンケートを実施し、その結果に基づき、「バスを1台増やして西ルートの逆回りを設ける事や市役所や病院、駅前商店街、河鍋暁斎記念美術館周辺などへのアクセスを改善する」ことを基本的な内容とするルート拡充案を検討し、今年の12月運行開始を目指して、そのための予算を今年の3月市議会に提出しました。予算は原案どおり可決されましたが、市議会で付帯決議がなされ、ルート拡充やバスの増便について、もう少し慎重に、他の方法も含めて検討するよう意見がありましたので、8月までに検討を重ね、議会に丁寧に説明しご理解をいただきながら、ルート拡充に向けた取り組みを進めていきたいと思っています。

#### 質問(女性)

先ほど小学校の35人学級のお話がありましたが、できれば30人学級にしたいです。その方が、先生の負担も軽減され、子どももすくすく育つと思います。

回答(市長)

国・県では、小学1・2年生において、35人学級を実施していますが、蕨市では、市独自に小学校のすべての学年において、35人程度学級を行っています。今年度は、4校で6学級が増えることとなり、そのための先生6人を市費で採用しています。ご質問にありました30人学級については、一人一人に行き届いた教育という意味ではその方がより良いと思いますが、30人学級にするためには、それだけ必要な先生の数が増えるため、市の財政負担という面から、なかなか難しい状況です。私は、国において、すべての学年で35人学級を実施して欲しいと考えていますが、そうなれば、蕨市独自の30人学級の実現というのも考えられるようになるかもしれません。

質問(女性)

蕨市は国民健康保険税が埼玉県内で2番目に低いと聞いています。今後もそれを維持してほしいと思いますがいかがでしょうか。

回答(市長)

蕨市では、必要な予算を一般会計から国民健康保険(国保)の特別会計に繰り入れ、国保税は、埼玉県内でも、大変低い水準に抑制しています。昨年4月、法律改正により、従来の市町村単位から都道府県が財政主体として運営を行なう国保の広域化が図られました。その結果、埼玉県が示した標準的な税率に沿うと、蕨市の国保税は現在の1.6倍になると試算されましたが、蕨市では、市民の皆さんの健康や生活を守る立場から、国保税を据え置き、運営しています。

しかしながら、今年度は、一般会計から国保会計への繰り入れが、昨年度より約1億円増額となり、今後も増えて行くことが想定されることから、将来的には見直しも検討せざる状況にあります。その際は、低所得者に配慮するなどの対応を考えていきたいと思っております。

質問(男性)

配布資料の内容について、詳しく教えてください。1点目は、「コミュニティ・スクールの導入」と「学校ICTの推進」とありますが、どのような意味でしょうか。2点目は、「重度知的障害者入所施設への運営費補助金の創設」についてです。重度知的障害者の保護者も高齢化が進み、お子さんを入所させたいという希望は多くありますが、この補助金はそういった方たちの一助となるのでしょうか。

次に、私は外国人を対象にした日本語ボランティア教室に長年携わっています。蕨市は人口に占める外国人の割合が9%で、比率は埼玉県内で1位、約7、

000人が住んでいます。配布資料を見る限り、外国人についての施策に触れられていませんが、4月からは新しい在留資格が創設され、国として外国人の受け入れを拡大しているなかで、外国の方への施策というものをこれからの課題として検討にあげて欲しいと考えていますが、いかがでしょうか。

#### 回答(市長)

まず1点目ですが、コミュニティ・スクールとは、簡単に言うと地域の力を学校運営に生かそうという取り組みのことです。具体的には、学校運営協議会を設置し、学校長のほか地域の方々にも委員として参加いただき、学校の基本的な目標について話し合ったり、学校のイベントに地域の方々に協力してもらったりします。蕨市においてはコンパクトシティである特性を生かし、今年度から塚越地区をモデル地区とし、東小学校・塚越小学校・東中学校の3学校区を1地区として、学校運営協議会を設立します。まずは塚越地区で実施して、様子を見ながら、今後順次全地区へ広げていこうと考えています。

また、学校ICTの推進についてですが、ICTとは情報通信技術のことです。パソコンは、現在も各学校のパソコン教室に設置されていましたが、今後は教育用タブレット端末を導入して、様々な授業やプログラミング教育などで活用して行く、ということです。

2点目の重度知的障害者入所施設への運営費補助金についてですが、これは、川口市内に4月に開設された入所施設に蕨市民の方が入所した場合、最高で60か月間、一人につき月4万円の補助を施設に対して行うという制度です。

障害者の方の入所施設については、昨年までのタウンミーティングでも、市内に造ってほしいという声をいただいております。施設の必要性はじゅうぶん認識をしています。しかし、入所施設は、社会福祉法人が整備することとなりますが、国として、入所施設をあまり増やしていかないという方針のため、国からの補助金を受けることが難しいという課題や、蕨市内での整備を考えた場合、土地の値段が高く、その確保がしにくいことなど、条件的に難しい面があります。そういった中で、私の3期目のマニフェストで「障害者入所施設の広域的検討」を掲げ、県内の障害保健福祉圏域で蕨市が属する南部圏域の中で入所施設の確保について取り組んできました。この運営費補助金制度は、そうした取り組みの中で創設したもので、施設への補助を通して、蕨の方が利用しやすく入所しやすい環境整備の前進につながっていくと思っています。

次に、外国の方への施策に関してですが、市としても大切な課題と考えており、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの後期実現計画において「外国人住民への支援」を施策の柱に掲げています。具体的には、外国から日本へ来たお子さんで、日本語での会話が難しい子たちが、学校へ通う前に日本語を学習するための教

室を教育センターに設けているほか、市役所でも外国人の方にとって分かりやすい日本語を使うよう職員に研修しています。また、外国人の方の相談窓口は市役所では市民活動推進室となりますが、より相談しやすい体制の整備も進めているところです。引き続き、さまざまな取り組みを通じて、だれもが暮らしやすいまちづくりを進めていきたいと思っています。

質問(女性)

2月に振り込め詐欺と思われる電話がありました。また同じようなことがあったら困るなど思っていたところ、振り込め詐欺対策の機器を市役所で入れてもらえるということを友人から聞きました。市役所に問い合わせたら、受付は7月からと言われたのですが、その間も不安なので、一人暮らしの人は優先的に設置してくれるなど、何か考えていただけないでしょうか。

回答(市長)

蕨市内の犯罪発生件数は、平成15年の3046件から、昨年は約4分の1の765件までに大きく減少していますが、振り込め詐欺被害は増加しており、蕨市内では平成28年が3件、29年が16件、30年には30件の被害がありました。振り込め詐欺の対策として、留守番電話設定にして、なるべく電話に出ないことが効果的であると言われていたことから、市では、市内在住の65歳以上の高齢者世帯や、日中、住居に高齢者のみとなる世帯に対して、通話録音装置の無償貸与を今年度に行います。実施時期については、機器の準備などが必要となることから申込受付は7月からとなりますので、その間も、十分、ご注意いただければと思います。また、一人暮らしの高齢者への配慮については、大切な事であると思っています。

質問(男性)

春日町商店街の街路灯についてです。閉めてしまったお店も多い中、そうしたお宅を含めて、皆さんから毎月、街路灯の電気代を集権しています。街路灯は、防犯等の面で地域の役に立っていると思いますので、もう少し市のほうで電気代の補助をしていただけないでしょうか。

回答(市長)

街路灯は商店街で設置いただいております、電気料も商店街が負担し、その一部を市で補助していますが、商店を閉めても、商店街の電気料を支払っている方もいらっしゃるという実情は伺っています。私も、商店街の街路灯は防犯など街全体の安全に寄与していると考えており、市長就任以来、「4分の1」であった商店

街路灯の電気料に対する市の補助率を「3分の1」、「2分の1」と段階的に引き上げ、現在は、LED化した場合は、「3分の2」を補助しています。また、商店街の街路灯をLED化する事業に対しても積極的に補助を行ってきました。その結果、商店街全体の電気料負担は、私が市長に就任する前の約680万円から約190万円へ大幅に軽減されています。しかし、商店の数が少なくなる中で、まだまだ大変という声もいただいておりますので、更なる負担軽減に向けて検討して行きたいと考えています。

質問(女性)

交通安全指導員をしています。保育園に送迎する主に自転車の親子の安全について気になっています。交通安全教室のほか、信号の設置や、保育園が近くにあることを示す看板の設置といった環境の整備に取り組んでいただきたいです。

回答(市長)

小さなお子さんの送迎ですので、交通安全が特に重要なのはおっしゃるとおりです。保育園での子どもたちへの交通安全教室は、交通安全指導員や交通安全母の会の皆さんが警察と連携しながら実施していますので、継続して取り組んでいきたいと思えます。近くに保育園があることを示す看板は確かに設置されていないかと思えますので、どういった工夫ができるのか、ドライバーへの注意喚起等も含め、事故が起きにくい環境づくりに努力をしていきたいと思えます。